



# News Letter No.16

## 2025/11/30

### 目次

1.	DS 協会共催:法人会員限定マンスリーセミナー『DSS Lounge』(7/4 開催) .....	1
2.	ソフトバンク株式会社から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合) .....	1
3.	iDS 飯尾ゼミ生が「第 60 回サイバーワールド(CW)研究会」にて発表 .....	2
4.	第 5 回イブニングセミナー .....	2
5.	樋口知之 AI・データサイエンスセンター顧問が読売新聞の取材でコメント .....	3
6.	第 6 回イブニングセミナー .....	3
7.	DS 協会共催:法人会員限定マンスリーセミナー『DSS Lounge』(10/3 開催) .....	4
8.	NVIDIA から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合) .....	4
9.	数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック産学連携交流会に参加..	5
10.	『データサイエンティストへの道』.....	5
11.	第7回イブニングセミナー .....	6
12.	アクセンチュアとマイナビから実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合) .....	6
13.	生成 AI と共に創する会計実務実践講座 .....	7
14.	3大学(関西・中央・法政)共催 データサイエンス・アイデアコンテスト 2025(協賛 マイナビ)最終選考会 .....	7
15.	所員 .....	9

## 1. DS 協会共催:法人会員限定マンスリーセミナー『DSS Lounge』(7/4 開催)

7月4日(金)に後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、一般社団法人データサイエンティスト協会(DS協会)と共に法人会員限定マンスリーセミナー『DSS Lounge』を開催しました。

今回は、ライオン株式会社執行役員(全社デジタル戦略担当/デジタル戦略部担当)の中林紀彦氏を講師に迎え、「企業戦略から逆算する DX ~見えない“裏方”が握る成功の鍵~」と題し、ご講演いただきました。

講演では、データやテクノロジーを駆使して「良い習慣づくり」のために習慣を科学する同社の取組を挙げつつ、そこで重視している点や苦労している点などが披露され、聴講された参加者と活発な意見交換が行われました。

またご講演に続き、副所長の生田目崇理工学部教授から本センターの取組を紹介いたしました。

### 『DSS Lounge』

一般社団法人データサイエンティスト協会の法人会員向けの内部セミナーとして、事業変革や AI、DS の企業内推進を担うリーダーの方々と議論し、ネットワーキングを深めることを目的に企画されています。

(佐伯諭 DS 協会事務局長は AI・データサイエンスセンターの客員所員です)

リンク:公式 WEB 新着ニュース

[\(https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai\\_and\\_ds/news/2025/07/81198/\)](https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/news/2025/07/81198/)

リンク:一般社団法人データサイエンティスト協会 (<https://www.datascientist.or.jp/>)



講演する中林氏(ライオン株式会社)

## 2. ソフトバンク株式会社から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合)

7月12日(土)学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」にて、ソフトバンク株式会社の山下勝司氏と荒哉太氏、松永隆太郎氏、町田兼悟氏、竹内悠生氏を講師に迎え、「デジタルトランスフォーメーションの導入と開発に関する議論」と題して講義とグループワークを行いました。

当日は、多摩キャンパスと後楽園キャンパスをオンラインでつなぎ合同対面授業を行いました。

まず講義では、荒氏から、これまでの2回のオンデマンド講義内容を踏まえて、デモ実演を行いました。デモ実演では、「駐輪場の混雑可視化」をテーマに ChatGPT でコードを生成したのち、Google Colab でコードを実行するといった一連の流れを説明し、エラーメッセージが出た場合の対処方法も紹介しました。

つづいて、1 グループ 6 人程度のグループワークに移りました。グループワークでは、AI を使ったビジネス企画を立案し、AI を動かす目的のコードを生成し実行するところまで行いました。学生たちは、冒頭のデモ実演を参考にしつつアイディアを出し合い、また先生方の助言を受けながらコード生成やコード実行を行いました。

最後に、各グループが検討した企画内容や利用した AI 技術、プロンプトの内容、動作結果、うまくいった点や苦労した点などの発表を行いました。これを受けて荒氏からご丁寧で寄り添ったご講評をいただいたのち、山下氏から総評と激励をいただき、講義は終了となりました。



荒哉太氏(ソフトバンク株式会社)



講義の様子(多摩キャンパス)



講義の様子(後楽園キャンパス)

リンク:公式 WEB 新着ニュース

### 3. iDS 飯尾ゼミ生が「第 60 回サイバーワールド(CW)研究会」にて発表

7月26日(土)に中央大学市ヶ谷田町キャンパスにて開催された「第 60 回サイバーワールド(CW)研究会」において、iDS 飯尾ゼミ生が発表を行いました。

サイバーワールド(CW)研究会は、社会の諸問題に関するさまざまな分野の最新成果をサイバーワールドの観点から統一的に技術基盤を明らかにすることで、学際的な展望を得るために意見交換の場を提供することを目的としています。



発表の様子

第 60 回サイバーワールド(CW)研究会  
開催日程:2025 年 7 月 26 日(土)  
テーマ「介護とサイバーワールド、および一般」  
一般講演3組、招待講演2組

発表題目「画像感性評価を支援するオンライン調査プラットフォームの提案」  
メンバー:竹田渉さん,江原千尋さん,秦美優さん,古崎航也さん,飯尾淳さん  
(プログラムNo.CW2025-03)

リンク:サイバーワールド時限研究専門委員会(<https://www.ieice.org/iss/cw/jpn/>)

リンク:プログラム(<https://www.ieice.org/iss/cw/jpn/cwws60prg.html>)

リンク:飯尾 淳(中央大学研究者情報データベース)

([https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003436\\_ja.html](https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003436_ja.html))

リンク:公式 WEB 新着ニュース

([https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai\\_and\\_ds/news/2025/07/81568/](https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/news/2025/07/81568/))

### 4. 第 5 回イブニングセミナー

7月28日(月)、後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、須藤修情報学部教授が『先進生成 AI の動向と AI ガバナンス-マルチモーダル、エージェント AI、SLM』をテーマに講演を行いました。

講演では、まず「AI の民主化」あるいは「AI の大衆化」と称される大きな変化の現状、具体的には米国トランプ政権の AI Action Plan や中国をはじめとした世界各国の動き、日本の立ち位置、そして日本の自治体における積極的な AI 導入状況などを説明されました。その後、RAG やマルチモーダル AI を活用した最新の研究や先進的生成 AI のインパクト、今後の生成 AI がどのように進化していくのか、今後社会に求められる人材の素養について紹介されました。最後に、民主主義的社会システムを持続させることのできる AI エコシステムの構想が必要であることを述べられ、講演が終了しました。



須藤修国際情報学部教授

セミナー終了後の情報交換会では、参加者同士の交流が広がり、終始活気に満ちた雰囲気の中、盛況のうちに終了しました。



リンク:公式 WEB 新着ニュース

## 5. 樋口知之 AI・データサイエンスセンター顧問が読売新聞の取材でコメント



樋口知之  
AI・データサイエンスセンター顧問

中央大学 AI・データサイエンスセンター顧問を務める樋口知之理工学部教授が、読売新聞の取材に応え、9月11日(木)の読売新聞夕刊1面にてコメントが掲載されました。

文部科学省が、来年度から生成AIを活用し地震メカニズムの迅速特定や余震規模の高精度推計を目指す研究を開始することを受け、樋口が「情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト(STAR-Eプロジェクト)」の事業運営統括を務めていることから今回の取材となりました。

文部科学省は、従来1週間以上かかっていた解析を1日で終える技術を開発し、防災情報を早期発信する狙いで、過去の巨大地震データや古い地震計記録、歴史文献をAIに学習させ、未知の地震現象の解明にも挑む予定で、今後は海底観測網など最新技術と組み合わせ、人では捉えにくい兆候の把握や新現象の発見に役立て、地震調査委員会の分析にも活用する方針です。

樋口は取材において、「地震データは量が膨大で人間が網羅的に分析するには限界がある。生成AIの導入は地震学の発展にも貢献できるはずだ」とコメントしました。

中央大学 AI・データサイエンスセンターは、これからも AI・データサイエンス領域に係る研究活動を通じて、社会に貢献してまいります。

リンク:[樋口知之\(中央大学研究者情報データベース\)](https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003216_ja.html)

([https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003216\\_ja.html](https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003216_ja.html))

リンク:[文部科学省情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト\(STAR-E プロジェクト\)](https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/)

([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jishin/projects/](https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/))

リンク: [STAR-E プロジェクト 樋口統括ご挨拶](https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/greeting.html)

([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jishin/projects/greeting.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/greeting.html))

リンク: [公式 WEB 新着ニュース](#)

## 6. 第6回イブニングセミナー

9月24日(水)、後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、田口善弘理工学部教授が『知能とはなにか 一ヒトとAIのあいだ』をテーマに講演を行いました。

講演では「知能とは何か」をテーマに、生成AIの進化とその限界について多角的に論じました。

冒頭では、ChatGPTの高度な文章生成やGeminiによる動画生成といった最先端技術を紹介する一方、「BLACKBERRYに含まれるBの数」を数え間違えるといったAIの弱点を取り上げました。

続いて、人間の知能研究の歩みをたどり、19世紀の脳損傷例から、脳活動の映像や言語を再現する現代の研究までを紹介。さらに、人工知能研究の始まりである1956年のダートマス会議や、モラベックのパラドックスにも言及しました。

講演全体を通じ、生成AIの驚異的な進展と、依然として残る知能理解の本質的な課題について参加者とともに考える貴重な機会となりました。

また、質疑応答の時間には、事前質問に答えたほか、会場やオンラインでの参加者とも活発な意見交換が行われました。



リンク: [公式 WEB 新着ニュース](#)

## 7. DS 協会共催: 法人会員限定マンスリーセミナー『DSS Lounge』(10/3 開催)

10月3日(金)、本セミナーは、一般社団法人データサイエンティスト協会の法人会員向けの内部セミナーとして、事業変革やAI、DSの企業内推進を担うリーダーの方々と議論し、ネットワーキングを深めることを目的に、中央大学 AI・データサイエンスセンターとの共催で開催されました。

当日は、日本アイ・ピー・エム株式会社 京田雅弘氏を講師に迎え、「AI エージェント時代にデータサイエンティストが示す価値」と題し、ご講演いただきました。

講演では、ユーザが交流する場を設けるために開催する SPSS ユーザイベントや AI エージェント等の同社の取組や AI による作業支援から人と AI の共創に向けた取組、AI を使うことによるリスクをどのように管理するか実際のアプリケーションを例に挙げた説明があり、聴講された参加者と活発な意見交換が行われました。

またご講演に続き、本学大学院博士後期課程・理工学研究科ビジネスデータサイエンス専攻1年、由見知輝さんによる「子育て Q&A サイトにおける愚痴を含む投稿の定量的評価と特徴分析」と題した研究の発表がされました。研究発表とその後の意見交換を通じて、参加者も大学の研究をうかがい知ることができ、また発表者も研究に関する更なる課題を見つけることができる、非常に有意義な機会となりました。

これからも中央大学 AI・データサイエンスセンターは、AI・データサイエンス領域での社会連携を通じて、社会の発展に貢献してまいります。



講演する京田氏  
(日本アイ・ピー・エム株式会社)



講演の様子



大学院博士後期課程1年  
由見さん

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

## 8. NVIDIA から実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合)

10月18日(土)学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」にて、エヌビディア合同会社から廣岡 信行氏、梅澤 孝司氏、岸本 章宏氏 3名の講師をお招きして講義をいただきました。



多摩キャンパスで講義する廣岡氏

当時は、多摩キャンパスと後楽園キャンパスの合同による対面授業を行い、これまでの遠隔授業(オンデマンド型)で学修した内容を踏まえたグループワークを行いました。

グループワークでは「世の中の課題に対して『生成 AI』または『デジタルツイン』を活用した課題解決のアイデアを提案」することをテーマに、参加学生それぞれ4~5名で1チームを編成して検討を行いました。

その後、大学1年生に向けた生成 AI を用いた履修登録支援の提案やデジタルツインの鉄道への応用、生成 AI を活用した人事業務の効率化、教員の時間外労働に対する AI を用いた取組の導入、導入後に想定される結果・効果、それに対する改善点が発表されました。また学生同士の質疑応答や、講師による講評がされたりと、有意義なディスカッションが行われました。

最後にまとめとして、講師の廣岡氏から学生に向けて「AI の進化は速く、最新情報をキャッチアップし、実際に AI を使って慣れて、そして活用してほしい」とのお言葉をいただきました。



左より大野理工学部特任准教授、  
岸本氏、梅澤氏



ディスカッションの様子



講義の様子

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

## 9. 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック产学連携交流会に参加

10月27日(月)に東京大学本郷キャンパスで開催された、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック产学連携交流会に、本学から AI・データサイエンスセンター副所長の生田目崇理工学部教授が参加し、企業や他大学の参加者と交流を深めました。

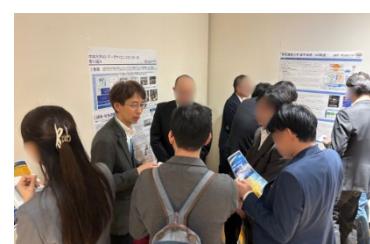
本交流会は、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムと経済産業省 関東経済産業局が主催するイベントで、9月と10月の2回に分かれて開催され、今回 本学を含めた14 大学は、17 の企業とともに、各機関の特徴をフラッシュトーク形式で紹介したのち、ポスター発表形式で情報交換を行いました。

参加された企業も DX 化を推進されている企業ばかりであり、今後の AI 人材育成や業務の AI 化、大学との協業による新たなビジネスチャンスなどを模索されていて、講師派遣や PBL、共同研究などによる交流の深化が期待される有意義な会合となりました。

中央大学 AI・データサイエンスセンターは、社会連携活動を通じて、これからも社会の発展に貢献してまいります。



交流会の様子



本学のブースで意見交換する生田目教授

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

## 10. 『データサイエンティストへの道』

10月29日(水)、AI・データサイエンスセンターは、一般社団法人データサイエンティスト協会事務局長を務める佐伯諭客員所員を講師に迎え、データサイエンスのスキルと検定との関わりについて講演いただくセミナーをオンラインにて開催しました。



講師を務めた佐伯諭客員所員

ご講演では、佐伯客員所員ご自身の経験をふまえ、広告業界、金融業界、行政等におけるデータサイエンスの活用事例が具体的に示されました。参加した本学学生から寄せられた質問にもざっくばらんに回答され、参加者にとって、データサイエンティストのやりがいや楽しさが肌感覚で伝わる非常に有意義な機会となりました。

なお、データサイエンティスト協会は、11月25日(火)に、データ分析・活用の実務に関わる方を対象としたイベント「12th シンポジウム～データサイエンスの最前線～」を開催します。

本イベントの最新情報ならびに一般参加者の申し込みは公式ウェブサイトにて受け付けています(事前登録制)(<https://www.datascientist.or.jp/symp/2025/>)。(※この申し込みはすでに終了しています。)

データサイエンスが社会とどのように結びつき、新しい変化を生み出すのか、ご興味がある方はぜひご確認ください。

これからも中央大学 AI・データサイエンスセンターは、AI・データサイエンス領域での社会連携を通じて、社会の発展に貢献してまいります。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

## 11. 第7回イブニングセミナー

11月5日(水)、後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、エヌビディア合同会社より廣岡信行氏を講師に迎え「生成AIからAgentic AI、そしてPhysical AIへ」と題して講演を行いました。

廣岡氏はこれまで富士ゼロックスでのシミュレーション研究やデータサイエンスに携わり、現在はエヌビディア合同会社にて高等教育機関や研究機関向けのAI活用支援を担当されています。



エヌビディア合同会社 廣岡信行氏

講演では、1950年代から現在に至るAI技術の発展を振り返り、第3次AIブームを経て急速に進化したAIの特徴や仕組みを解説しました。さらに、AIが自律的に思考・判断・行動する「エージェント型AI」へ、そして現実世界の情報と連携して動作する「フィジカルAI」へと進化している現状とその意義を紹介しました。

また講演の後半では、AIの応用が期待される分野として、自動運転、スマートシティ、医療、製造業、ロボティクスなどの最新事例を紹介。仮想空間上でのシミュレーション(デジタルツイン)による効率的な開発や検証の可能性を示し、AIが人間の論理的思考や創造を支援する未来像を描きました。

講演を通じて参加者からは、AIの将来的展望や実社会への応用に関する理解を深める有意義な機会になったとの声が寄せられました。

中央大学AI・データサイエンスセンターは、AI・データサイエンス領域での社会連携を通じて、これからも社会の発展に貢献してまいります。



櫻山所長ご挨拶



講演の様子

[リンク:公式WEB新着ニュース](#)

## 12. アクセンチュアとマイナビから実務家講師を招聘(AI・データサイエンス総合)

11月15日(土)学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」にて、アクセンチュア株式会社の井田佳祐氏、株式会社マイナビの高橋誠人編集長を講師としてお招きし、講義をいただきました。

当日は、多摩キャンパスと後楽園キャンパスをオンラインでつなないだ合同対面授業を行いました。また講義では、生成AIを用いたアイディエーションについて、これまでondeMANDOにて学習した内容を振り返りつつ、個人ワークからグループで議論、発表を通じて理解を深めました。

ワークを行うにあたり、講師の一人である井田氏から「生成AIは考えているわけではなく確率的に文章を生成しているにすぎない。そのため、人間による検証が必要になる。また生成AIに指示するにもその構造化が求められ、ロジカルシンキングが役に立つ。生成AIへの指示は、情報量の少ない会話調ではなく、できるだけ具体的に指示することで、より期待した結果を得ることができる。これは人から人への質問や依頼と同じことがいえる」旨のご説明があり、また発表後は「生成AIの使用で仮説の精度が高くなり、また人が思いつきにくいことを生成AIが補っていることがわかった」とのご講評をいただきました。



株式会社マイナビ 高橋誠人編集長



アクセンチュア株式会社 井田佳祐氏



講義の様子(後楽園キャンパス)

## 13. 生成 AI と共に創する会計実務実践講座



難波英嗣専任所員



河合雅文客員所員

11月17日(月)後楽園キャンパス産学官連携・社会共創フロア(3号館14階)にて、税理士・経理実務者向け「生成AIと共に創する会計実務実践講座」を開催しました。

本講座は、中央大学AI・データサイエンスセンター初の社会人向け有料講座となりましたが、定員50名が満員となり、関心の高さがうかがえました。

講座の1コマ目は、難波英嗣専任所員(理工学部教授、専門分野:自然言語処理、情報検索)が「生成AIの基礎」と題して講義を行いました。講義では、生成AIとは、というところからはじめ、生成AIの仕組み、生成AIの苦手なことやその対策、生成AIの急速な進化について、最新情報を踏まえつつ丁寧に紹介しました。

講座の2コマ目から4コマ目は、河合雅文客員所員(令和アカウンティング・ホールディングス株式会社、株式会社ミラクル経理、公認会計士)が担当しました。2コマ目は「生成AIの税理士・経理業務への影響」と題し、税理士・経理実務の観点から生成AIの仕組みや技術の現状をおさらいし、「税理士・経理の仕事はAIに奪われるのか?」について具体的に把握しました。また3コマ目は「生成AIと共に存するためのスキル・実践テクニック」と題し、実際に参加者が生成AIを操作して、専門的事例の研究調査で各モデルの挙動を確認したり、生成AIを使った資料作成を通じて効果的なプロンプトやスライド編集、マクロファイルの作成を学びました。最後の4コマ目は「未来に向けたキャリア戦略と倫理的視点」と題し、生成AI時代に求められる税理士・経理人材の力とは何かを問い合わせ、税理士・経理のプロフェッショナルとしての倫理観と責任を再認識しました。

中央大学AI・データサイエンスセンターは、AI・データサイエンス領域での社会連携を通じて、これからも社会の発展に貢献してまいります。

[リンク:公式WEB新着ニュース](#)

## 14. 3大学(関西・中央・法政)共催 データサイエンス・アイデアコンテスト2025(協賛マイナビ)最終選考会

11月22日(土)関西大学梅田キャンパスにて「3大学共催データサイエンス・アイデアコンテスト2025(協賛マイナビ)」の最終選考会を開催しました。

本コンテストは、与えられたテーマに対し、データサイエンスの授業で学んだ分析手法を駆使し、そのエビデンスに基づきながら、独自性の高いアイデアを競い合うコンテストです。

『「ウェルビーイング × ●●」のための提案』というテーマに基づき、3大学の学部生や附属・併設・付属校の高校生から合計89組(うち高大混合1組、高校生3組、中央大学・法政大学混合1組)の応募があり、一次選考を通過した12組(うち高校生1組)が最終選考会でプレゼンテーション発表を行い、6組がポスター発表を行いました。

最終選考会では、7分間のプレゼンテーションと5分間の質疑応答を行い、3大学の教員とマイナビの事務局から構成される審査員による審査の結果、最優秀賞など各賞(受賞一覧参照)が選ばれました。最終選考会参加者にはオープンバッジも授与されます。

中央大学からはプレゼンテーション4組・ポスター発表2組(うち高大混合1組)が最終選考会に進み、その中から2組がそれぞれ最優秀賞と優秀賞を受賞しました。

また、協賛のマイナビ社は「マイナビ賞」を設け、同社の視点からも表彰を行い、マイナビ独自のオープンバッジも授与しました。

コンテスト終了後には3大学合同の交流会を実施し、普段は出会う機会の少ない他大学の学生や教員、マイナビ事務局との親睦を深め、楽しいひとときを共有しました。参加者からは「今回のテーマは世の中のさまざまなものとかけ合わせが考えられるので、アイデアを深めていくのがとても面白かった」「3大学合同で発表する場があったことで、さまざまな面白い発想が学べた」などの感想も寄せられ、盛況のうちにイベントは無事終了しました。



3大学の参加者、審査員一同の集合写真

## 受賞一覧

賞	(学校名) 発表チーム名	発表タイトル
最優秀賞	(中央大学) wellbeck	Skill-Inclusive Company (SIC) ～「雇用形態」の壁を壊し、「スキル」で全員を包摂する～
優秀賞	(中央大学) ぎょうざバーガー	CAMPICK-後悔のない進路選択の実現-
	(法政大学) Connect_Rikejo_o	中・高・大・社会 連携型 理工系女子のための学内マッチングプラットフォーム
アイデア賞	(関西大学) レントゲン	農で開く!地域の居場所
エンジニアリング賞	(関西大学) ともしび	売るための広告から良かったと思える広告へ
マイナビ賞	(法政大学) Connect_Rikejo_o	中・高・大・社会 連携型 理工系女子のための学内マッチングプラットフォーム
チャレンジ賞	(関西大学北陽高等学校) WellEarth	環境問題×ウェルビーイング～海洋教育カードゲームとウェルビーイング～
オーディエンス賞 <sup>1)</sup>	(法政大学) Bダッシュマリオ	ふたリストット 2人の“したい”を叶える、デートプラン提案アプリ
特別賞	(関西大学) パンダ	エンゲージメントを高める働く場
	(中央大学) 小五のしょうご	『見えない SOS をデータで支える』～AI が支える、孤独死ゼロ社会へ～
	(中央大学) 4期生か5期生のなかむらゼミ	「一緒に食べる」をデザインする—共食マッピングで広がるウェルビーイング
	(法政大学) 未来教育ラボ	学びと体験の機会をすべての子供に届けるために
	(法政大学) 奥山ゼミ逆井チーム	最適な音楽イベントを見つけてウェルビーイングを向上させよう ～音楽イベント提案サイトの運用～
	(法政大学) Bダッシュマリオ	ふたリストット 2人の“したい”を叶える、デートプラン提案アプリ
ポスター賞 <sup>2)</sup>	(法政大学) いんど村	推しカク大作戦 ～全人類に推し活を～

\*1: オーディエンス賞は、最終選考会の参加チームが互いに評価する賞

\*2: ポスター賞は、最終選考会参加者全員による投票により評価する



発表をする wellbeck (中央大学)



最優秀賞を受賞した wellbeck (中央大学) と  
関西大学 中尾教授



発表会場の様子



オーディエンス賞を受賞したBダッシュマリオ  
(法政大学)と中央大学 AI・データサイエンスセンター  
櫻山所長



マイナビ賞を受賞した Connect\_Rikejo\_o  
(法政大学)とマイナビ 高橋編集長



ポスター発表の様子①



ポスター発表の様子②



ポスター発表の様子③



3 大学 DS アイデアコンテスト 2025  
オープンバッジ

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

## 15.所員

AI・データサイエンスセンター 所員

専任所員数 74

客員所員数 12

(2025.11.30 当日予定)

所属別 専任所員内訳



所員一覧は、[こちらのリンク](#)をご覧ください

中央大学 AI・データサイエンスセンター  
ニュースレター No.16

発行日:2025年11月30日発行

発行所:中央大学 AI・データサイエンスセンター事務室  
〒112-8551東京都文京区春日1-13-27  
ai-and-ds-grp@g.chuo-u.ac.jp  
[https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai\\_and\\_ds/](https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/)

表紙:中央大学理工学部写真会  
<https://www.instagram.com/chuophotoclub/>  
【学祭展】より  
題名:「暁の宴」  
撮影者:林龍之介さん(応用化学科3年)